



南島原市観光ショートフィルム 第二弾「記憶の灯」上映会

図 総務秘書課 ☎73-6621

—あらすじ—

幼い頃、家族に見放された健人。施設で過ごした健人は、小学生になり、南島原市に住む久子の元へ引き取られる。南島原市の転校先の小学校で、一人の少女(綾乃)に出会う。健人は、綾乃やこの街の人々と触れ合い、ある出来事をきっかけに、少しずつ心が再生していく。

日時 4月13日(土) 開場/午後5時30分
開演/午後6時~7時30分(予定)

会場 ありえコレジヨホール **入場無料**

ショートフィルムの撮影について

1月23日から29日までの期間、市内各地でショートフィルムの撮影を行いました。小学校や事業所、店舗、市民キャストなどの皆様のご協力により、進めることができました。
ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



宝くじ文化公演 アントネッロ「天正遣欧少年使節」の物語



安土桃山時代、九州のキリシタン大名の名代として4人の少年たちがローマ教皇の元へ派遣されました。ルネサンスの花咲くヨーロッパで彼らが見聞した音楽や、既に日本でもたらされていたであろう南蛮音楽の数々を物語仕立てでお聴きいただけます。
古楽アンサンブル・アントネッロ、4人の少年に扮する歌手たち。笑いあり涙ありの巧みな台本にのせて、当時の人びとが聴いたであろう音楽をお楽しみください。

図全席自由/一般…1,500円

高校生以下…1,000円

※宝くじの助成により、特別料金となっています。
※前売りで完売した場合は、当日券はございません。
※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。



日時 7月12日(金) 開場/午後6時
開演/午後6時30分

会場 ありえコレジヨホール

◆前売券発売日 5月24日(金) 午前9時~

◆入場券前売所

・ありえコレジヨホール ☎73-6736

販売時間/午前9時~午後8時

※ありえコレジヨホールのみ(土)日も販売します。

※以下の施設の販売時間/月~(金)午前9時~午後5時

- ・加津佐公民館
- ・口之津公民館
- ・原城オアシスセンター
- ・北有馬ピロティー文化センター日野江
- ・西有家総合学習センターカムス
- ・布津公民館
- ・深江公民館

【主催】(一財)自治総合センター・南島原市・南島原市教育委員会 図生涯学習課 ☎73-6703 または ありえコレジヨホール ☎73-6736



「新聞」感想文コンクールで最優秀賞に

県内の小中学生を対象にした第15回「新聞」感想文コンクール(長崎新聞社と長崎新聞長崎会主催)で、志岐実咲さん(西有家小2年)が、小学生低学年の部で最優秀賞に輝きました。その他、西有家小学校からは3人が各賞を受賞し、加津佐小学校が学校賞を受賞しました。

3月14日、受賞報告のため児童らが市役所を訪れ、代表して志岐さんと伊藤美結さん(西有家小6年)が受賞した感想文を発表しました。

■受賞者および受賞校

~小学生・低学年の部~

【最優秀賞】志岐 実咲さん(西小2年)

【佳作】植木 透和さん(西小3年)

安達 萌香さん(西小2年)

~小学生・高学年の部~

【青来有一賞】伊藤 美結さん(西小6年)

【学校賞】加津佐小学校



史上最多の応募数「セミナリヨ現代版画展」

2月23日、第18回南島原市セミナリヨ現代版画展の表彰式をありえコレジヨホールで行いました。

今回の応募総数は過去最多の15,869点、昨年から約2,000点増え、全国から多くの素晴らしい作品が集まりました。

第1部門(小学生の部)でセミナリヨ大賞を受賞した林田昂真くん(大野木場小4年)は、「細かい模様を彫るのが大変だった。こんな賞をとれると思ってなかったのととてもうれしい」と話しました。

審査委員長の中林忠良さんは、「日本最大となるすごい数の応募があり、その中からあなたがたの作品が選ばれた。これからも頑張って好きな作品をつくってください」と講評を述べました。

作品の展示はこの日から3月3日まで行われ、たくさんの人が鑑賞に訪れました。

Focus in 南島原 まちの話題



新酒のかおりに誘われて

2月16日から17日にかけて、有家町の5つの蔵を中心に「ありえ蔵めぐり春の陣」が開催されました。

ひと足早い春を感じる「春の陣」。できたての新酒や特産品の手延そうめん、味噌、醤油などが店頭に並び、たくさんの人がお店自慢の品を買い求めていました。また、それぞれの蔵に展示された鮮やかなひな飾りが、訪れた人の目を楽しませました。

熊本県や広島県など県外から訪れた人も多く、有家の町がにぎわいを見せた2日間でした。



ひょうたん 色鮮やかな瓢箪が 会場一面を彩る

ひょうたん愛好家グループ「有馬愛瓢会」の主催により、3月2日、3日の2日間、北有馬ピロティー文化センター日野江で「第21回有馬ひょうたん展」が開催されました。

会場には全国展で入賞した作品の他、会員が丹精を込めて繊細に加工した色鮮やかな瓢箪ランプや工芸ひょうたんが数多く展示され、訪れた人たちは熱心に見入っていました。

有馬愛瓢会の松本健一会長は「瓢箪づくりの伝統を後世に引き継いでいきたい」と制作への思いを話しました。